

公益社団法人全国学校図書館協議会

平成 24 年度事業報告

☆印＝新規事業

1 学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発

学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発については、本年は以下の事業を実施した。

(1) 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施

学校図書館の機能を充実させるため、学校図書館の業務に携わっている司書教諭や学校司書等を対象にしたサポート講座を 9 回開催した。

(2) 第 14 回「学校図書館セミナー」の開催

11 月 20 日の第 14 回図書館総合展にて、学校図書館の今日的な課題を取りあげて研修した。

(3) 学校図書館向き図書の選定及び選定図書への件名付与の実施

小・中・高等学校図書館向き図書の選定事業を定期的に実施した。選定会議は、原則として毎月 2 回(年間で 20 回)開催し、全国学校図書館協議会(以下、「全国 S L A」という)が委嘱した図書選定委員会が 5,919 点の図書の選定を行った。また、選定図書への件名付与を実施した。

☆(4) 読書会の普及

学校における読書会の振興、普及を図るために、読書会に関する指導者を養成する読書会コーディネータ養成講習会を全国 6 地域で開催した。学校図書館センター 5 月 19 日(土) 高知大学 6 月 9 日(土) 旭川市民会館 7 月 7 日(土) 兵庫県立のじぎく会館 9 月 8 日(土) 仙台市東京エレクトロンホール 10 月 6 日(土) 那覇市市町村自治会館 11 月 3 日(土)

(5) 第 45 回「夏休みの本」(緑陰図書)の選定

全国 S L A 委嘱の特別選定委員会により、夏休みにぜひ読んでほしい本を厳選し、「夏休みの本」(緑陰図書)として発表した(小・中・高等学校向き 40 点)。

(6) 学校図書館図書整備協会(S L B A)の図書の選定

S L B A(学校図書館向け図書の共同購入組織)の委嘱を受け、S L B A 用図書を選定した。

(7) 第 58 回青少年読書感想文全国コンクールの実施

読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的に、青少年読書感想文全国コンクール(毎日新聞社と共催)を実施した。

(8) 第 24 回読書感想画中央コンクールの実施

読書の感動を絵画表現することによって、読書力や表現力を養うことを目的に、読書感想画中央コンクール(毎日新聞社と共催)を北海道、山口県・九州地区を除く 37 都府県で実施した。

(9) 学校図書館賞の授賞

第 42 回学校図書館賞(運動、論文、実践の 3 部門構成)の選考を行い、入賞者を招いて表彰式を開催した。24 年度は、学校図書館賞を 1 点、学校図書館奨励賞を 2 点授賞した。引き続き第 43 回学校図書館賞の募集を行った。

(10) 第 14 回学校図書館出版賞の授賞

学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を図った。24 年度は、学校図書館出版賞を 2 社に授賞した。

(11) 第 18 回日本絵本賞の授賞

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「日本絵本賞」、「日本絵本賞読者賞」(毎日新聞社と共催)の授賞を行った。24 年度は、日本絵本大賞 1 点、日本絵本賞 3 点、日本絵本賞読者賞 1 点を授賞した。

(12) 第 36 回「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう絵本読書が定着することを願って「絵本週間」を実施した。

☆ (13) 学校図書館スーパーバイザー制度の拡充

全国 S L A「学校図書館スーパーバイザー」による指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。

(14) 全国 S L A 学校図書館活動推進委員会の活動の展開

各県 S L A の元役員や学校図書館の研究・運動に実績のある退職教員等で構成する学校図書館活動推進委員会を拡充し、全国 S L A および各県 S L A の活動を強化した。

2 学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究

学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究については、本年度は以下の事業を実施した。

(1) 「学校図書館基準」の作成

学校図書館が機能を果たするためには一定の方針に基づいた継続的な経営・運営が必要である。全国 S L A では、さまざまな基準を作成し発表してきたが、それらを網羅する集大成ともいえる「学校図書館基準」を作成ための準備を進めてきた。

(2) 第 58 回学校読書調査の実施

青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、全国から抽出した小・中・高校生約 12,000 人を対象に、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態調査を実施した。(6 月・毎日新聞社と共催)

(3) 平成 24 年度学校図書館調査の実施

学校図書館の整備充実を図るため、小・中・高等学校を対象として学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態調査を実施した。(6 月・全国の小・中・高等学校から 3% を無作為抽出)。

(4) 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施

全国の市区町村教育委員会に対して、平成 24 年度の学校図書館図書整備費 200 億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施した。(学校図書館整備推進会議と共催)

(5) 「学校図書館評価基準」の普及

学校図書館のいっそうの整備充実を図るために、全国の学校図書館で利用できる「学校図書館評価基準」の普及を図った。

☆ (6) 全国学校図書館研究大会(米子大会)の開催

第 38 回全国学校図書館研究大会(米子大会)を 8 月 8 日、9 日、10 日の 3 日間、米子コンベンションセンターにおいて開催した。大会主題「学びを広げる ひとはをぐくむ 学校図書館」のもと、約 80 分科会を設定し、約 1,700 名の参加者とともに実践的な研究を深めた。

☆ (7) 第 4 回学校図書館専門職員研究会の開催

司書教諭及び学校司書の資質向上を図るために、第4回学校図書館専門職員研究会を、7月30日（月）・31日（火）の2日間、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで73名の参加者を得て開催した。

3 各都道府県学校図書館研究団体の活動の推進

各都道府県学校図書館研究団体(以下、「各県SLA」という)の活動の推進については、本年度は以下の事業を実施した。

(1) 各県SLA事務局長会議の開催

全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県SLA事務局長会議を2013年2月7日（木）に開催した。

(2) 全国SLAと各県SLAとの研修会等の実施

各県の学校図書館整備を進め、司書教諭、学校司書の専門性を高めるために、全国SLAと共催で研修会、サポート講座等を開催した。

(3) 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及

学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。

(4) 各県SLAのWebサイト作成

全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等に利用した。

(5) 『各県交換情報』の作成と活用

各県SLAの組織や活動等について『各県交換情報』を作成してWebサイトに掲載し、その活用を図った。

(6) 各県SLA組織訪問の実施

全国SLAと各県SLAの連携を強化するため、全国SLAの役員等が2県SLAを、訪問し、組織運営や研究活動等について情報交換を行った。

(7) 全国SLA研究協力員の委嘱

全国SLAが行う研究活動に加わり、また研究成果の普及を行う「全国SLA研究協力員」に各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受け、委嘱を継続的に進めている。

(8) 各県SLAへの研究助成

各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行った。

☆ (9) メールマガジンの活用

各県SLAおよび会員へ速やかに情報を配信するためにメールマガジンによる情報発信を活用した。10月10日より新システムでスタートした。

4 学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行

学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行については、本年度は以下の図書及び雑誌を出版した。

(1) 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行

機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』を刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を掲載。『学校図書館速報版』は、学校図

書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

(2) 写真ニュース『としょかん通信』の刊行

学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行した。編集を外部のプロダクションに委託し、効率的な制作を目指した。

☆ (3) 『学校図書館必携』（仮称）の刊行

学校図書館担当者に必要な資料をコンパクトにまとめた『学校図書館必携』は、刊行に向けて企画を整理する段階である。

(4) 『学校図書館 基本図書目録 2012 年 1 月～2012 年 12 月版』の刊行

小・中・高等学校の図書館に基本的に備えたい図書を厳選し、解説・分類記号・件名・ISBNコードを付した基本図書の安価版の『学校図書館 基本図書目録 2012 年 1 月～2012 年 12 月版』を刊行した。

(5) 『新しい教育をつくる司書教諭のしごとシリーズ』の刊行

司書教諭になった方のための、また学校図書館の活動をより深めたいと思っている方のための実務シリーズの刊行に向けて編集作業中である。

(6) 『集団読書テキスト』の重版

読書会や朝の一斉読書等のためのテキストとして『集団読書テキスト』を小学校向き 4 点、中・高向き 3 点を重版した。

☆ (7) 『はじめよう学校図書館』の刊行

学校図書館の基本的な仕事の意義や具体的な手順を解説したシリーズで『学校図書館入門シリーズ』をリニューアルした『はじめよう学校図書館』を 5 冊刊行した。『学校図書館、まずはこれから』、『学校図書館メディアの選び方』、『その蔵書、使えますか？』、『学校図書館をデザインする』、『初めての読書指導 アイディア 25<小学校編>』

☆ (8) 『第 26 回よい絵本』Web 版の刊行

絵本読書の普及を図るため全国 S L A 絵本委員会の研究成果をまとめた解説目録『第 26 回よい絵本』は Web 版として 7 月末に掲載した。

☆ (9) 『フランスに見る学校図書館専門職員 ドキュメンタリスト教員の活動』の刊行

先進諸国の学校図書館実践事例を広く普及するため、全国 S L A が 1 月に実施したフランス学校図書館視察の報告書を 7 月に刊行した。

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、本年度は以下の事業を実施した。

☆ (1) 公益社団法人化の基盤整備

4 月 1 日の公益社団法人化を受け、公益社団法人としての基盤整備を進めた。

(2) 学校図書館講演会の開催

特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する講演会を 2013 年 3 月 7 日（木）に開催した。

(3) 学校図書館研究資料室の整備充実

学校図書館に関する基本的な資料の整備充実を図った。図書館管理ソフトを導入して、電算化を進めた。